



市議会だより



平成24年成人式実行委員会（平成24年1月8日）

祝！20歳の門出

平成23年12月定例会一覧

○議案の審議結果			○委員会			○本会議（主な内容）		
予算	その他	議員提出	12月13日	9月15日	8月9日	5日	閉会	開会
（原案可決）	（原案可決）	（原案可決）	産業厚生建設委員会	総務文教消防委員会	代表質問・一般質問 一般質問・議案の委員会付託 特別委員会の設置及び委員の選任 委員長報告・質疑・討論・採決 追加提案 提案理由説明・採決 提案理由説明・質疑・討論・採決 特別委員会の正副委員長選任	決算特別委員会委員長報告・質疑・討論・採決 議長選挙 副議長選挙 議会運営委員会委員の選任 常任委員会委員の選任 議会編集委員会委員の選任 第4次総合計画検討特別委員会の廃止 各委員会の正副委員長選任 富山地区広域圏事務組合議員・滑川・新川 川成牧場組合議員・滑川・富山 地区広域情報事務組合議員・富山 地域衛生組合議員の補欠選挙 農業委員会委員の推薦 各種委員並びに理事の推薦 提案理由説明	12月5日	12月5日
16件	5件	1件	1件	1件	3件	6件	会期11日間	会期11日間

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は3月です。

◆新しい議会構成が決定！

◎公共施設の耐震化や地震、津波などの災害対策を包括的に協議するため
「災害に強いまちづくり検討特別委員会」を設置



岩城 副議長



開田 議長

議長に
開田晃江氏
副議長に
岩城晶巳氏

本会議

12月定例会

市議会12月定例会は、12月5日から15日までの11日間の会期で開催されました。

審議した案件は、継続審査となっていた「平成22年度滑川市各会計決算の認定について」や平成23年度一般会計補正予算をはじめとする予算関係及び条例等の市長提出議案11件（追加議案1件を含む）、議員提出議案5件の合計16件です。

審議の結果、市長提出議案の11件並びに議員提出議案5件は原案どおり可決、認定及び同意されました。

◇12月5日に本会議を開き、まず会期を15日までの11日間と決めた後に、決算特別委員会の委員長報告を受け、「平成22年度滑川市各会計決算の認定について」を認定しました。

その後、議長の選挙、副議長の選挙を行い、続いて議会運営委員会委員の選任、各常任委員会委員の選任、議会報編集委員会委員の選任、第4次総合計画検討特別委員会の廃止、各委員会の正副委員長長の選任がなされ、次に富山区広域圏事務組合議会議員・新川育成牧場組合議会議員・滑川中新川地区広域情報事務組合議会議員・富山地域衛生組合議会議員の補欠選挙、農業委員会委員の推薦、各種委員並びに理事の推薦が行われました。

引き続き、平成23年度一般会計補正予算をはじめとした予算関係及び条例の市長提出議案9件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。

◇8日、9日は代表質問及び一般質問が行われ、12名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に市長提出議案を所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の15日には本会議を再開し、災害に強いまちづくり検討特別委員会の設置及び委員の選任を行い、続いて並行在来線等問題特別委員会委員を選任しました。

次に、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果等の報告があり、採決の結果いずれも委員長の報告のとおり賛成全員で可決されました。

その後、市長から人事案件として、滑川市監査委員に石倉正樹氏の選任が追加提案され、同意いたしました。

続いて議員提出議案5件の提案理由説明の後、採決を行い、いずれも可決されました。

最後に特別委員会の正副委員長を選任して、12月定例会を閉会といたしました。

新しい議会構成

(○)委員長、(○)副委員長

◆議会運営委員会

○中川 勲 ○古沢 利之

○水野 達夫 ○中島 勲

○砂原 孝 高橋 久光

◆総務文教消防委員会

○野末 利夫 ○高木 悦子

○古沢 利之 開田 晃江

○中川 勲 砂原 孝

高橋 久光 前田 新作

◆産業厚生建設委員会

◎原 明 ○水野 達夫

岩城 晶巳 石倉 正樹

中島 勲 浦田 竹昭

森 結

◆並行在来線等問題特別委員会

◎森 結 ○中島 勲

水野 達夫 高木 悦子

岩城 晶巳 浦田 竹昭

砂原 孝 高橋 久光

◆災害に強いまちづくり検討
特別委員会

◎石倉 正樹 ○野末 利夫

原 明 古沢 利之

開田 晃江 中川 勲

前田 新作

◆魚津市鹿熊地内の養鶏場建設
検討特別委員会

◎開田 晃江 ○岩城 晶巳

水野 達夫 高木 悦子

原 明 石倉 正樹

中島 勲 古沢 利之

中川 勲 砂原 孝

野末 利夫 森 結

高橋 久光 前田 新作

◆議会報編集委員会

◎水野 達夫 ○前田 新作

岩城 晶巳 古沢 利之

中川 勲 野末 利夫

石倉 正樹

◆各組合議会議員

・富山区広域圏事務組合

開田 晃江 中川 勲

・新川育成牧場組合

古沢 利之 前田 新作

・滑川中新川地区広域情報事務組合

水野 達夫 高木 悦子

中島 勲 砂原 孝

・富山地域衛生組合

◇各種委員並びに理事 森 結

・滑川市農業委員会委員

高橋 久光

・民生委員推薦会委員

水野 達夫 原 明

・都市計画審議会委員

原 明 野末 利夫

・（仮称）富山県東部消防広域化

開田 晃江 協議会委員

・新川畜産公社理事

古沢 利之 野末 利夫

前田 新作

第2回臨時会

◇平成23年第2回市議会臨時会は、会
期を11月29日の1日間と決めた後に、
「滑川市の職員の給与に関する条例等
の一部を改正する条例の制定につい
て」が上程され、市長から提案理由の
説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の総務文
教消防委員会へ付託しました。
その後、本会議を再開し、総務文教
消防委員長から、付託議案の審査結果
の報告があり、委員長報告のとおり、
賛成全員で可決され、第2回臨時会を
閉会といたしました。

任意の委員会等の新設

・議会改革検討委員会
より市民に開かれた議会を目指し、
議員定数や議会基本条例制定等の議会
改革について協議する。

◎中川 勲 ○古沢 利之
水野 達夫 中島 勲

砂原 孝 高橋 久光

・北アルプス横断道路推進研究会

富山と長野両県を結ぶ北アルプス横

断道路の上市ルート実現のため、調査

研究や情報交換を行う。

◎浦田 竹昭 ○水野 達夫

高木 悦子 石倉 正樹

開田 晃江 砂原 孝

野末 利夫

日誌

23年11月

4日 並行在来線等問題特別
委員会協議会

7日 岐阜県関市議会より行政視察
委員会協議会

10日 議会運営委員会協議会
定例議員協議会

16日 朝日滑川間国道・バイパス
建設促進期成同盟会要望
（新潟県、東京都）

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

17日 岡山県倉敷市議会より行政視察
委員会協議会

代表質問

12月定例会では12名の議員が質問
を行い、32項目について市当局の見
解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおり
です。（すべての質問等詳細を記
録した会議録は、3月中旬頃まで
に、市立図書館に配布する予定です
のでご利用下さい。また、滑川市
ホームページの市政情報には、議会
会議録検索システムが搭載されてお
りますので、ご利用下さい。）

※質問者の最後のQは、掲載外の質
問事項です。

検討特別委員会幹事会、協議会

2日 並行在来線等問題特別
委員会協議会

5月15日 12月定例会

15日 議会報編集委員会

22日 県知事へ要望（富山市）

1月

10日 定例議員協議会

魚津市鹿熊地内の養鶏場建設

検討特別委員会幹事会

県市議会議長会協議会（富山市）

16日 議会報編集委員会

19日 産業厚生建設委員会協議会

20日 議会報編集委員会

24日 三重県四日市市議会より
行政視察

26日 並行在来線等問題特別
委員会協議会

27日 静岡県掛川市議会より行政視察

代表質問



- 1 安全・安心のまちづくりについて
- 2 財政状況について
- 3 スポーツ・健康の森公園整備について

(会派「一心クラブ」) 前田 新作 議員

Q 学校を含む公共施設の耐震化の予定はどうなっているのか。

A 上田市長 従来、教育関連施設を優先してきた。今回、南部小学校体育館、東部小学校多目的ホールの耐震化を前倒しで予算化した。残りの寺家小、田中小の校舎耐震化を早期に実施するために国や県に働きかけている。他の公共施設においても、緊急度を勘案しながら順次耐震化していく。市民会館大ホールについては、文化会館建設基金をもとに、現在の施設を耐震化するのがよいのか、もっと基金を積み立てて将来音響面を考慮した新しい施設に改築するのがよいのかということも含めて議論していきたい。

Q 沖田川の洪水対策を含む



耐震化が決定した東部小学校多目的ホール

めた市内河川の洪水対策はどう考えているのか。

A 上田市長 沖田川の治水対策については、県において河川交付金事業で鋭意整備中であるが、一日でも早く完成するよう国、県に働きかけていく。市において今年度は、特に溢水被害が発生している中川原地区でバイパス水路を整備しており、今町地区でも海へ直接排水する水路整備を実施している。

Q 新年度の交付税は本年並みが見込めるのか。

A 杉田財政課長 本市への交付見込みについては、算定に用いる事業費補正や各種基礎数値について変動はないが、出口ベースでは前年当初比1・6%減となっていることから、今年度交付額を多少下回るものと考えている。

Q 事業費を考えた場合、今すぐやる事業なのか。

A 宮川教育次長 スポーツ・健康の森公園整備については、市民の強い期待と要望がある。来年度からは、国の社会資本整備総合交付金を活用して整備を進める予定であり、国・県へ要望しているところである。

Q 下水道整備事業について

その他の質問事項

Q 新教育委員長就任にあたって

一般質問



- 1 農業振興対策について
- 2 小中学校での備品整備や教育環境の整備について

原 明 議員

Q 農村研修センターの一年間の利用状況はどうなっているか。

A 上坂農林課長 平成22年12月から23年11月末まで、延べ回数で118回の利用がある。味噌の加工組合の利用が大半を占めており、J A 女性部、「ひかる市」の運営協議会、諸団体の利用である。

Q 農村研修センターは滑川市のほぼ真ん中、国道8号の角にあり人通りが多く非常に立地条件が良い。滑川市の農業の発信基地として活用すべきではないか。

A 上坂農林課長 交通量の多い国道に隣接し、立地条件も良いことから、直売施設やカット野菜、菜種等の搾油ができる加工施設、食堂だとか資材販売等の施設や、本来の設置目的である農業者の皆さんや、農業を志す方々の研修の場として利用するのが望ましいと考えている。

Q 小中学校での教育環境の整備の優先順位と対応はどうなっているのか。

A 平井学務課長 備品整備、教育環境整備については、トータルにみており、児童、生徒の教育活動の充実を図ることを最優先に考えて整備に努めている。

Q 北加積小学校の家庭科室の整備を10年間要望しているが、どうなっているのか。

A 平井学務課長 北加積・東加積小学校には、調理実習を行う家庭科室はなく、調理実習ができるような設備の整備に至っていない。

Q 北加積小学校での洋式トイレの整備率は7%であり、小中学校9校の中で唯一多目的トイレが整備されていないが、この状況をどのように認識されているのか。

A 石川教育長 学校には、肢体不自由の方も入学しておられ、優先的に洋式化しなければならぬ。今後は生活環境の整備が必要であると考えている。

Q 多目的トイレ、洋式トイレの整備には、子どもの意見も取り入れていたいただきたいがどうか。

A 石川教育長 先生方の要望だけでなく、子どもたちの意見を取り入れながら協議し整備を進めていきたい。

一般質問



1 消防の広域化について 2 教育について

水野 達 夫 議員

Q 消防の広域化に4市町村でいくらの経費を見込んでいるのか。それが消防指令本部の共同運用になればいくらの経費でおさまるのか。

A 石原消防長 広域化、共同運用ともに必要な整備として、消防緊急指令装置に5億円、消防救急無線のデジタル化に10億円を見込んでいます。広域化はこれに加えて、財務等のシステム構築に1億2千万円、指令センターの建設費等に5千万円から2億円程度の費用がかかる。

Q 今年度に入り、財団法人水野奨学会より小中学校に約6千8百冊の書籍の寄付があったが、有効に活用されているか。

A 石川教育長 長い間にわたり滑川市の子どもたちの教育に大きなご支援

をいただき、心より感謝とお礼を申しあげたい。活用状況は特設コーナーを設けたり、読書タイムや授業においても活用したりして、読書の楽しさを伝えている。今後もこのような活動を継続しつつ、子どもたちの豊かな情操教育を育んでまいりたい。

Q いじめに関して、市内の小中学校の状況はどうか。

A 石川教育長 毎年春に前年度の各学校のいじめの実態の報告を受けている。今後とも学校現場との連携をさらに密にして、いじめ問題の解消に取り組んでまいりたい。

Q ライフスキル教育プログラムは、困難を上手に乗り越える力を養うのに非常に有効である。市内の小中学校の先生方は

じめ、保護者や地域の方々にもライフスキルの重要性、必要性を認識してもらったためにPRできないか。

A 石川教育長 今後とも、教職員のスキルアップを図る意味合いも含めて、ライフスキルに関する研修会に積極的に参加していきたい。また、子どもたちを育てるのは、学校だけではなく、保護者や地域の皆さんと協働しながら、明日を担う滑川市の子どもたちを育てていきたいと考えているので、保護者や地域の方も含めてこのような研修会に参加していただくような工夫もしていきたい。その他の質問事項
Q 協働のまちづくりについて

一般質問



海洋高校跡地利用の問題について

中島 勲 議員

Q 整備計画について県とどのような交渉をしたか。

A 池本総務部長 施設については体育館等の建物については無償譲渡、敷地については全体で3万㎡弱の内、地権者から寄附いただいた全体の7割は無償、残りは有償という案を提示され有償部分の圧縮を図るべく協議を重ねている。あわせて周辺環境整備の財政支援や運営団体に対する支援もお願している。

Q 富山県、サッカー協会、滑川市のそれぞれの役割はどうなのか。

A 池本総務部長 市は施設の整備を行い、これをサッカー協会が母体となるNPO法人に有償で貸し、県サッカー協会はサッカーを柱とした競技力向上に向けた事業を展開する。県は、市が行う整備の支援のほか、NPO法人が展開する事業についても競技力向上施策の観点から支援を行っていく、と考えている。

Q 総事業費と市の負担はどの程度か。

A 池本総務部長 総事業費は概算で三億五千万円程で日本サッカー協会等の補助金、県サッカー協会及び企業の寄附金等で建設を予定しており市の財政負担はない。あと大きなものは有償譲渡の敷地不足用地ということで田の購入費用と整備費用が一番大きな負担で、あとは周辺環境の整備、用水のつけかえ、周りの道路等の手直し、実習棟は研修施設として残すので耐震化費用も市の負担に

なると考えている。

Q オープンまでのスケジュールはどうか。

A 池本総務部長 平成24年度から工事を着手し、平成25年春からオープンを考えている。

Q 周辺住民の理解を十分にいうことで雨水対策をどう考えているか。

A 池本総務部長 周辺にお住まいの方々への配慮は重要なことと考えている。雨水対策だがグラウンドの設計を進めるにあたり雨水の排水計画を作成したい。雨を地面に透過透水性のもの、アスファルト部分も地下浸透するもの、またグラウンド下の排水施設もやりかえて今とあまり変わらない程度の地下浸透で流れるような排水計画になる予定である。

一般質問



- 1 並行在来線の今後について
 - 2 海洋高校閉校後のフットボールセンター(仮称)運営計画について
 - 3 スポーツ・健康の森公園の緊急性について
- 高木悦子議員

Q 富山県並行在来線対策協議会において、どのような要望を出していく予定なのか。

A 池本総務部長 適正な運行本数と時間帯の設定、適正な乗車運賃、新幹線との快適な接続と、あわせて財政負担が極力小さくなるよう要望したい。

Q 並行在来線開業に向け、市民の皆さんへの情報の発信が乏しいと感じるが、今後の取り組みは。

A 池本総務部長 情報発信が乏しいのが実態で、広報などを活用して、市民に分かりやすく適時情報を伝えていきたい。

Q 県サッカー協会が滑川を拠点として、県全体の競技力向上の施設を持つてくることに歓迎をしているが、この先フットボールクラブの収支の帳

尻合わせを県サッカー協会が担保してくれるのか。

A 富士原企画政策課長 運営については県サッカー協会を母体とするNPO法人が自主性と責任を持つてやるので、滑川市が補助をするといったことは考えていない。

Q 年間11万人の利用計画があり、並行在来線の新駅を作ることがこの集客を確保するのではないのか。県全体の競技力向上施設という観点からも、富山県に対してここに新駅が必要であると、積極展開する考えはないか。

A 富士原企画政策課長 県下全域から人が集まる施設ができ、公共交通機関の利用が増えると思っている。まずこの事業を成功させて追い風にさせることが大事と考える。

Q フットボールセンター

が滑川市内にできてサッカー競技の拠点ができることになるが、サッカー競技や練習の利用が重要視されていたと思われるスポーツ・健康の森公園に及ぼす影響は。

A 長井公園整備室長 フットボールセンターは人工芝、スポーツ・健康の森公園は天然芝で、互いを補完し合い相乗効果を生み出すと考えている。

Q 桃山運動公園を、魚津市から使用してもらっては困ると指摘されたが。

A 長井公園整備室長 指摘を受けたことはない。

Q 財政健全化を掲げるのなら、身の丈に合った施設とすべきではないか。

A 長井公園整備室長 滑川市の身の丈に合った施設だと考える。

一般質問



- 1 北アルプス横断道路構想について
 - 2 小水力発電の推進について
 - 3 公共施設の設備のメンテナンスについて
- 浦田竹昭議員

Q 北アルプス横断道路構想は、長野県と富山県を北アルプス直下をトンネルで結ぶもので、朝日、上市、立山の3

ルートが候補としてあり、経済的効果も大きく期待されている。この構想に対する見解、ルートの選定並びに近隣市町との連携についての見解を問う。

A 上田市長 ルートについては、言うまでもなく上市ルートであり、経済、観光、人の交流等に無限の効果がある。上市ルート推進に滑川市も立ち上がって、上市町と連携を組んで動きを強める必要がある。

Q 建設課に小水力発電担当職員が配置されたが、その職員の職務内容について問う。また、県や市町村並びに民間での小水力発電の取り

組みが加速しており、本市としての今後の取り組みに対する見解を問う。

A 上田市長 担当職員については、早月川沿岸土地改良区の関係、(株)アルプス発電、今後まだ出てくる民間を期待しながら、行政としてお手伝いをする。

Q みのわ温泉が、供給湯量の減少から、2カ月半もお客様に迷惑をかけた経緯と対応について問う。また、本市の公共施設設備の点検・保守・修繕の対応について見解を問う。

A 山下生涯学習・スポーツ課長 早月川温泉開発のほうで、復旧工事を行い、12月1日より従来どおりの営業を行っている。その間、利用者の方々に大変迷惑をかけたと思っている。



小早月発電所

A 三浦建設課長 現在、養輪地内の国営導水路、杉本地内の郷用水路及び栗山地内の鋤川用水路での発電が有力であり、今年度は、鋤川用水路において発電所建

設に向けた基本設計の作成や経済性の検討等、調査が行われている。

Q 設に向けた基本設計の作成や経済性の検討等、調査が行われている。

A 杉田財政課長 市の各施設設備の管理については、今まで以上に適正な管理を行い、修繕があれば即対応する体制をとっていく。

一般質問



1 消防の広域化について 2 「災害時要援護者」への対応について 3 防災対策の強化のために

古 沢 利 之 議員

Q 消防の広域化の準備が進められている。そもそも広域化の目的は何か。

A 石原消防長 より高い

水準の消防サービスの提供と、より一層の消防体制確立を図るためである。

Q スケジュールの確認をしたい。「一部事務組合で広域化とのことだが、広域化の目的を大前提に進めてもらいたい。

A 石原消防長 平成24年

12月の各市町村議会で議決し、県に一部事務組合の申請、指令センターは25年度整備、26年4月に消防本部の統合を図りたい。

Q 災害時に自力で避難が困難な「災害時要援護者」は616名登録されている。どのように登録されているか。

A 岡本福祉介護課長 平

成20年度から町内会、民生委員、福祉見回り隊の協力で登録している。年々増加している。

Q 要援護者の状況は変化する。更新はどの程度で行っているか。

A 岡本福祉介護課長 通

常は年一回、年度末に見直しているが、状況の変化があった場合は情報により随時変更している。

Q 災害時に名簿は現場で活かされるようになっていくか。魚津市消防本部では火災発生の場合、現場付近の住宅地図が表示されると同時に、要援護者の住宅がマーキングされる。

A 金山消防署長 地図検

索装置の中にデータは入っているが、直接表示されるのはこれからの広域化にかけたい。

Q 今回のような大地震の

後では離れたところでも地震が発生する。安政5年の「飛越地震」も、その4年前の「安政東海地震」「安政南海地震」の誘発とされている。県内にも大きな被害をもたらす断層がある。国・県に調査を強く求めてほしい。

A 折田総務課長 県では

国に重要要望として断層の調査を要望している。市も働きかけていきたい。

Q 富山県に地震・津波はないと思っている方も少なくない。市民向けの講演会、勉強会が必要だ。

A 折田総務課長 いきい

き市政講座や県の自主防災アドバイザー派遣事業を利用した研修会を実施している。今後も防災意識の啓発に努める。

一般質問



滑川市海浜公園の整備促進を

石 倉 正 樹 議員

Q 主要地方道富山魚津線、市営荒俣団地交差点から海浜公園駐車場に通じる市道の拡幅をすべきでは。

A 三浦建設課長 市道滑

川海浜公園線の重要性については、地権者の同意等を添付した要望書が出ており、認識している。

平成24年度以降において、優先順位を勘案のうえ、対応したいと考えており、測量等用地買収等に入りたいと考えている。

Q 設置されているトイレが汚く利用しにくい環境にあり、特に女性の方から、苦情も多いことから水洗化すべきではないか。

A 東まちづくり課長 公

園内のトイレは、くみ取り式から簡易式水洗トイレに平成23年2月に改修

した。汚れについては、今後はトイレの清掃回数を増やし、衛生的なトイレの管理に努める。水洗化については、公共下水道の本管までの距離が約200メートルと長く、利用状況やコスト面から考えると、現段階では難しいと考えている。

Q 防災林や芝生広場と防波堤との間の側溝がごみや砂で汚れている。年間を通じてきれいにできないか。

A 東まちづくり課長 越

波水路で堤防を超えてきた海水を流すための施設であり、県によって維持管理を行っている。市から県に対し適正な維持管理をしていただきますよう要望していく。ただ市

として、公園巡視員が公園を巡回し、簡易なものは素早く撤去する。

Q 東福寺野自然公園や行田公園のように、市民の皆さんにもっと利用してもらえように、公園化整備のさらなる促進を中長期的に計画すべきと思う。また、市のイベント等を企画し、利用促進を図るべきではないか。

A 東まちづくり課長 整

備のやり方は、財政面もあるが未舗装の駐車場となっている部分の舗装をまずしていきたい。公園から立山連峰がきれいに見えることから、眺望を写したような看板等を設置したい。また、利用の促進という点から、海辺のコンサートとか県道の富山朝日自転車道を利用したウォーキングなどを催した発着点として公園を利用するなど考えられる。市道の拡幅を見ながら対応したい。

一般質問



1 海洋高校閉校後の活用について
2 にここに商品券の効果について

森 結議員

Q サッカー場整備は、市ではなく県が事業主体となるべきではないか。

A 久保副市長 県は県営施設の設置は念頭になく、市が整備するといっ

ても実質的には民間活力による整備手法である。

Q 土地の譲渡を受ける約30%は有償であり1億2千万円と推定されているが、全て無償で受けるべきであるがどうか。

A 久保副市長 県が税金で取得した土地であり、有償譲渡と言っている。半額で交渉しており有償譲渡はやむを得ない。

Q 全額回収された時点で土地、建物などの所有者は誰なのか。市の普通財産として残るならば、その後も賃貸契約となるか。

A 久保副市長 市の普通財産でありそれを貸し付ける。未来永劫、市の物

である。契約について

は、いろいろあるがこれからの協議である。返済が終わった後もサッカー協会が残るとなれば賃借を続けることになる。

Q 3力年事業である。事業主体が1億円、市が8百万円、事業主が2百万円の総額1億1千万円の商品であり、買った人は1割得する商品券である。3年間の消費実績は。

A 碓井商工水産課長 平成21年度99・76%で1億9百73万7千円、22年度は99・82%で1億9百80万7千円、23年度は99・85%で1億9百38万7千円である。

Q 80%以上が大型店舗で占められている。一般的な小売店にどれだけの恩恵があったのか疑問が残る。3力年事業の総括として景気浮揚に貢献が

あったと思われるか。

A 碓井商工水産課長 短期間(4カ月)に1億1千万円の消費があったということは、それなりに効果があつたものと思われる。

Q 市税を年8百万円、3力年で2千4百万円も投入し経済効果を狙って、効果(税収増)があつたか。

A 小幡産業民生部長 今不景気であり税収の押し上げになつたか判断する材料がない。

Q 事業をやつてもやらなくても効果がわからないということだが、今後要請があればどうするか。

A 碓井商工水産課長 慎重に検討したい。その他の質問事項
Q 中学校の自殺事件について
Q 各種選挙の投票票の時間短縮について

一般質問



養鶏場建設問題について

岩城 晶 巳議員

Q 市長の12月議会の提案理由説明の中でも、この1年間の状況が説明されていた。県の農業会議も「水道水源の汚染の可能性、臭気の発生、鳥インフルエンザの発生の可能性について懸念の払拭に努められたい」と異例の文言が盛り込まれている。何よりもこの10月より家畜防疫体制の強化ということで、感染した鶏を埋める備えとして、隣接地に約3千5百平米もの用地を確保しなければならぬ。これは小学校プールの11から12個分の広さが必要である。隣接地等に約3千5百平米の土地を用意しなければ建設ができないということなのか。

A 小幡産業民生部長 家畜伝染病予防法の例の埋

却に必要な土地の確保については、建設着工の条件ではない。操業するときに確保しておけばよいということである。

Q 建てた、埋却地が用意できなかったということになれば、今度は操業ができないということか。

A 小幡産業民生部長 法律により、県知事が勧告または命令をするという対象になる。

Q 要は操業するなという命令ができるということですね。命令を無視したらどうなるか。

A 小幡産業民生部長 命令無視は法律違反である。

Q 水の問題もあるが、臭いもいろいろとあるのではないかと見ており、この養鶏場の規模では鶏糞は一日50t近く出る。鶏糞の処理はどういう処理方法なのか。

A 小幡産業民生部長 コンポストによる発酵処理と聞いている。

Q コンポストによる発酵処理となれば、風は谷沿いに吹くので、滑川市内中がにおうのではないのか。私のところ、早月は隣り合わせということではないかと心配している。市長も建設反対の先頭に立っておられるので、思いを聞きたい。

A 上田市長 私どもはこの問題を軽々に絶対扱えない。議員の皆さん方にお力をいただいていることを感謝する。市民の皆さんと一体になってご協力をお願いしたい。

その他の質問事項
Q 社会資本の整備について

一般質問



1 国民健康保険制度の運用について 2 市道橋梁の長寿命化対策について 3 児童館の早期改築を

砂原 孝議員

Q 今ＴＰＰ交渉の中で混

合診療全面解禁の議論が
されると言われており、
今までの国民皆保険制度
が崩壊につながると危惧
されるとともに、国民健
康保険制度を堅持しなけ
ればならない。本市の国
民健康保険会計は、平成
24年度末で3億2千万円
の赤字が見込まれること
から、11・2％引き上げ
し23、24年度それぞれ
8千万円を補てんし、保
険者に半分負担をお願い
することとしたが、25、
26年度の保険会計の見込
みはどうなるのか。

A 荒木市民課長 平成

25、26年度2カ年の予測
において約3億8千万円
の赤字が見込まれ厳しい
財政運営が強いられる。

Q 保険税を値上げしない
で持続する方策は。

A 荒木市民課長 医療費

の適正化を図るためジェ

ネリック医薬品希望カー
ドを国保加入全世帯に配
布し、また特定健康診査
項目を追加するとともに
平成24年からクレアチニ
ン検査及び貧血検査の2
項目を追加検討してい
る。従来、実施している
がん検診、ミニドック健
診についても受診率向上
に今後努めていきたい。
国保運営については、国
の抜本的改革がない限
り、国保税の値上げは今
後避けることはできな
い。

Q 市が管理する幅5メー

トル以上の橋は何橋ある
か。そのうち補強しなけ
ればならない橋梁は幾つ
あるか。

A 三浦建設課長 市が管

理するスパン5メートル
以上の橋梁は99橋ある。
平成24年度より国の補助

採択を受け橋梁の長寿命

化計画を策定し、24年度
は297橋ある2メートル以
上の橋梁点検を実施し、
状況を把握する。なお15
メートル以上の長大橋は
16橋あり、早急に補強修
繕が必要な橋梁は巡視に
よる目視では少ないと考
えている。

Q 児童館の早期改築につ

いて平成27年度まで改築
されるとなっているが。

A 上田市長 子ども第

一主義からすると、平成
27年というのは放ってお
けない問題だと思ってお
り、小学校等の耐震化も
含めてこの問題はしっか
り計画を立てて取り掛か
りたい。

その他の質問事項

Q みのわテニスコの今後の対
応について、当局の方針を問
う

一般質問



決算特別委員会の指摘事項について

野末利夫議員

Q 市営住宅の家賃滞納に

ついて、連帯保証人制度
を効果的に活用し時効に
よる取り立て不能となら
ないよう、特に悪質な多
額滞納者に対し、法的措
置も含めて対応すべきと
思うが見解を求める。

A 東まちづくり課長 市

営住宅に係る使用料の滞
納額については、平成23
年10月末時点で24名、約
6百万円となっている。
滞納者に対し、催告書や
電話による催告、個別訪
問により納付を促し、滞
納額の減少に努めている。
入居者本人が面談に応じ
なかったときや、分納誓
約が不履行の方に対し、
連帯保証人へ文書や訪問
により納付をお願いして
いる。市営住宅に係る使
用料については、民法の
169条ないし地方自治法の

236条の規定により、時効

5年と規定されている。
市営住宅の家賃滞納者に
対し、分納誓約書を提出
いただき、家賃の一部の
弁済を受けることで、時
効を中断させ取り立て不
能とならないように努め
ている。特に悪質な多額

Q 文化・伝統・郷土芸能

の増額と保存会の育成に
ついて問う。

A 山下生涯学習・スポーツ

課長 文化・伝統・郷土

芸能を伝承するための補
助金は、新川古代神保存
会、加島町獅子舞保存会、
松坂踊り保存会、ネプタ
流し保存会の4つの保存
会に今現在助成している。
各団体が伝承活動を行う
のに必要な額を助成して
いる。装備とか備品を購
入するなど別途多額の経
費がかかる場合には、コ
ミュニティーなどの助成
事業を活用している。保
存会の関係者らと連携を
密にし、伝統・文化や郷
土芸能の保存・伝承に努
めてまいりたい。

Q 民間の賃貸住宅や雇用

促進住宅の利用者は駐車
場の料金が徴収されてい
るが、市営住宅の利用者
は駐車場料金が徴収され
ていないのは、市民感情
として不公平感があり徴
収してはどうか。

A 東まちづくり課長 今

現在、未舗装のところに
枠だけを設けて駐車する

委員会

平成23年第2回臨時会の 委員会の審査から

■総務文教消防委員会

審査議案は1件であり、慎重に審査が行われ、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

◆滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

12月定例会の委員会の 審査から

審査から

12月定例会の各常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■総務文教消防委員会

審査議案は3件であり、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

▼平成23年度滑川市一般会計補正予算（第3号）

◆滑川市各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆滑川市税条例等の一部を改正する条例の制定について

■産業厚生建設委員会

審査議案は7件であり、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

▼平成23年度滑川市一般会計補正予算（第3号）

▼平成23年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

▼平成23年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

▼平成23年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

▼平成23年度滑川市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

▼平成23年度滑川市水道事業会計補正予算（第1号）

◆滑川市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

■決算特別委員会

審査議案は1件であり、各会計決算については賛成全員により認定すべきものと決定しました。

なお、今後改善を求める事項については、次のとおりです。

【歳入】

1 一般会計及び特別会計においては、厳しい経済環境ではあるが、納税及び受益者負担の公平性の原則から、預貯金や保険契約の差押え強化はもちろんのこと、給与や動産、不動産などの差押えについても検討をされ、市税等徴収対策室を有効に活用することにより、収納率の向上を図りたい。特に悪質な案件については、法的措置を含めて厳正に対処されたい。

また、近年、不納欠損にて処理されている案件が増加しているが、不納欠損にならないよう徴収などに努力されたい。

2 滞納額の督促に関しては、水道料や下水道使用料、市営住宅家賃なども含めて、担当課の枠を超えた滞納額の総額を対象とすることにより、右記の差押え実施の判断とされたい。

3 市営住宅の家賃滞納について、連帯保証人制度を効果的に活用され時効による取立不能（不納欠損）とならないよう留意されたい。また、市税等徴収対策室を有効に活用することも検討され、特に悪質な多額滞納者に対しては、法的措置も含めて厳正に対処することにより滞納額の減少に鋭意努力されたい。

4 滑川市健全な財政に関する条例に従い、公債費負担比率などの財政指標を念頭において、中長期的な財政運営に引き続き努められたい。

【歳出】

1 全般的に不用額が多額に発生しているが、予算要求において前年度の不用額の内容を検証し、新年度予算に反映されたい。また、補助事業に減額があった場合は速やかに減額補正をすることにより、見かけ上の不用額とならないように留意されたい。

2 愛市購買の観点から、全庁及び関係機関の各種物品等の購入にあたっては、地元業者を最優先されたい。

3 委託料の清掃業務・電気保安業務・消防設備保守点検・エレベーター保守点検・空調設備保守点検など、市が管理しているすべての施設（学校も含む）の業務委託の現状を把握し、業

務ごとに一括にて発注するなど、さらなる業務委託費の削減に努められたい。

4 超過勤務手当については、部課によるばらつきが目立つため、仕事量と人員配置の適正な人事管理を行い、極力圧縮に努められたい。

5 補助金交付団体の実態が変化しているにもかかわらず、依然として前年踏襲の補助が続けられているケースがある。団体補助の内容を見直し、活動実態や状況に見合ったものになるよう検討されたい。また、同じような事業に補助金の名称が多すぎて中身がわからないなど、事業内容がわかるよう事業名の精査をされるよう努められたい。

6 リース車両の管理や選定、配置数に問題がないか検討及び見直しをされたい。

7 燃料費や光熱水費の量的支出が適正に行われているか、無駄がないかの判断は金額だけでは把握できないので、購入量、消費量といった数量の把握を行い、地球温暖化防止のためにも省エネに努められたい。

8 厳しい経済環境にある中で国際交流事業の趣旨は理解できるが、国際交流員とALTでの語学教育について、共有できるところは共有するなど経費の削減に努められたい。

9 介護予防は重要な市政課題であり、現在、介護予防事業の生活機能評価については、人間ドック利用者など特定健診未受診者が評価の対象から漏れているため、現在の体制を見直されたい。

10 浜加積地区福祉センター指定管理料については、実態を把握し経費の削減に努められたい。

11 ゲートボール場の利用状況をみる

- と歳入に見合った歳出になっていないことから、今後の競技人口等を考慮しながら多目的利用も視野に検討されたい。
- 12 工事設計等委託料については、今後とも市職員で設計を行うように努められたい。
- 13 民間の賃貸住宅や雇用促進住宅の利用者は、駐車場の料金が徴収されているが、市営住宅の利用者は、駐車場料金が徴収されていない。市民感情として不公平感があるので、早急に徴収するよう努力されたい。
- 14 公園管理等の業務委託における工程管理や段階検査を確実に実施し、適正な施工管理を徹底されたい。
- 15 民間委託や指定管理者などを検討され努力されているが、引き続き学校給食共同調理場や図書館なども検討され、極力人件費削減に努められたい。
- 16 小中学校の備品や環境整備に関しては、十分な予算措置がされていない点が見受けられ、他予算の中から不足分を補っているという状況である。子ども第一主義の観点からも、学校の備品整備、教育環境の整備に対し適正な予算措置を図られたい。
- 17 学校給食共同調理場の生ごみ処理機が修理不能となり解体されたが、たい肥化についての評価を明確にしたうえで、今後の対応を検討されたい。
- 18 文化・伝統・郷土芸能を伝承するため、補助金の増額と保存会の育成に努められたい。
- 19 みのわテニス村のテニスコート利用者の利用状況について、毎年利用者が減ってきている。スポーツに対する価値観が多様化しており、抜本的な見直しの活用計画を早期に策定し示されたい。

■魚津市鹿熊地内の養鶏場建設検討特別委員会より

委員会では、鳥インフルエンザについての研修会や新潟県胎内市や村上市への視察などを行い、養鶏場問題に取り組んでいます。

養鶏場問題の現状等についてお知らせします。

- ・平成23年6月 魚津市とタカムラ鶏園とで公害防止の覚書を交わす（養鶏場の着工前に公害防止協定を締結する）
- ・平成23年7月 農地転用許可
- ・平成23年10月 家畜伝染病予防法の改正（飼養衛生管理基準の見直し）

★この法改正により、埋却の用に供する土地の確保が義務付けられました。

48万羽↓約3千4百平方メートル
※約1千坪※小学校のプール約11個分に相当

- ・法第12条の6に規定する勧告または命令の適用対象になります。

◇今後について

県や魚津市との公害関係法令に基づく特定施設の設置に係る事前協議後、着工前60日までに特定施設の設置を届出※滑川市として事前協議に何らかの形でかわるため、県や魚津市に働きかけたいとのこと。

〈参考〉

平成22年9月議会
養鶏場の建設に反対する決議を全会一致で可決

会派の結成

（結成日 平成23年12月15日）

会派名	自民改革クラブ
会長	砂原孝
所属議員	浦田竹昭

議会放送と録画放送のご案内

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ092チャンネル（アナログは8チャンネル）で、生放送及び録画放送を実施しております。

次回の市議会定例会の本会議の放送は、3月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。

なお、定例会の日程及び放送時間等については、市広報（3月号）・ケーブルテレビ等を通じてご案内します。



議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さまのご意見をお寄せください。市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 475-2111（内線371）

12月定例会での①議員提出議案、②意見書提出要請、③要望書について

件名及び提出者

処理結果

① 議員提出議案（5件）

- | | | |
|--------------|--|----------|
| 1 議員提出議案第14号 | 「障害者総合福祉法のサービスと介護保険法のサービス」を当事者の意思で選択・併用を求める意見書 | 本会議結果＝可決 |
| 滑川市議会議員 中川 勲 | 外5名 | |
| 2 議員提出議案第15号 | 並行在来線の利便性確保を求める意見書 | 本会議結果＝可決 |
| 滑川市議会議員 古沢利之 | 外5名 | |
| 3 議員提出議案第16号 | サイバー攻撃・情報保全対策に関する意見書 | 本会議結果＝可決 |
| 滑川市議会議員 高橋久光 | 外9名 | |
| 4 議員提出議案第17号 | APECでのTPP交渉参加表明に抗議する意見書 | 本会議結果＝可決 |
| 滑川市議会議員 高橋久光 | 外9名 | |
| 5 議員提出議案第18号 | 原子力発電所の警備に関する意見書 | 本会議結果＝可決 |
| 滑川市議会議員 中島 勲 | 外9名 | |

件 名 及 び 提 出 者

処 理 結 果

② 意見書提出要請（5件）

- 1 「障害者総合福祉法のサービスと介護保険法のサービス」を当事者の意思で選択・併用を求める意見書
..... 議会運営委員会一致
(社)富山県身体障害者福祉協会 会長 岡 本 武 勇 外5団体 (議員提出議案第14号へ)
- 2 並行在来線の利便性確保を求める意見書..... 議会運営委員会一致
滑川市議会並行在来線等問題特別委員会 委員長 高 木 悦 子 (議員提出議案第15号へ)
- 3 サイバー攻撃・情報保全対策に関する意見書..... 議会運営委員会不一致
自由民主党滑川市議会議員団 代表 高 橋 久 光 (議員提出議案第16号へ)
- 4 A P E CでのT P P交渉参加表明に抗議する意見書..... 議会運営委員会不一致
自由民主党滑川市議会議員団 代表 高 橋 久 光 (議員提出議案第17号へ)
- 5 原子力発電所の警備に関する意見書..... 議会運営委員会不一致
自由民主党滑川市議会議員団 代表 高 橋 久 光 (議員提出議案第18号へ)

③ 要望書（5件）

- 1 地球社会建設決議陳情書..... 全議員へ参考配付
荒 木 實
- 2 原子力災害対策を基本的な柱とする地域防災計画の策定と、北陸電力との安全協定の締結を進めるよう、市長に要請すること
を求める陳情..... 全議員へ参考配付
反原発市民の会・富山 代表 藤 岡 彰 弘
- 3 平成24年度滑川市行政施策に対する要望について 全議員へ参考配付
滑川商工会議所 会頭 齊 藤 慎 一
- 4 精神障害者の施策充実に係る要望書..... 全議員へ参考配付
滑川市・中新川郡広域精神障害者家族会「アルプス家族会」会長 開 庄 治 外2団体
- 5 精神障害者の施設の改築改善に関する要望書..... 全議員へ参考配付
N P O法人あすなろ滑川 理事長 若 林 悦 大

12月定例会での本会議の結果について

議 案 内 容 等

採 決 結 果

- ◎議案第44号..... 原案認定（賛成全員）
平成22年度滑川市各会計決算の認定について
- ◎議案第49号～議案第57号..... 原案可決（賛成全員）
平成23年度滑川市一般会計補正予算（第3号） 外8件
- ◎議案第58号..... 原案同意（賛成全員）
滑川市監査委員の選任について
- ◎議員提出議案第14号..... 原案可決（賛成全員）
「障害者総合福祉法のサービスと介護保険法のサービス」を当事者の意思で選択・併用を求める意見書
- ◎議員提出議案第15号..... 原案可決（賛成全員）
並行在来線の利便性確保を求める意見書
- ◎議員提出議案第16号..... 原案可決（賛成多数）
サイバー攻撃・情報保全対策に関する意見書
賛成者＝水野・高木・原・岩城・石倉・中島・古沢・浦田・中川・砂原・野末・高橋・前田
反対者＝森
- ◎議員提出議案第17号..... 原案可決（賛成多数）
A P E CでのT P P交渉参加表明に抗議する意見書
賛成者＝水野・高木・原・岩城・石倉・中島・古沢・浦田・中川・砂原・野末・高橋・前田
反対者＝森
- ◎議員提出議案第18号..... 原案可決（賛成多数）
原子力発電所の警備に関する意見書
賛成者＝高木・原・岩城・石倉・中島・浦田・中川・砂原・野末・高橋・前田
反対者＝水野・古沢・森

第2回臨時会での結果について

議 案 内 容 等

採 決 結 果

- ◎議案第48号 原案可決（賛成全員）
滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について